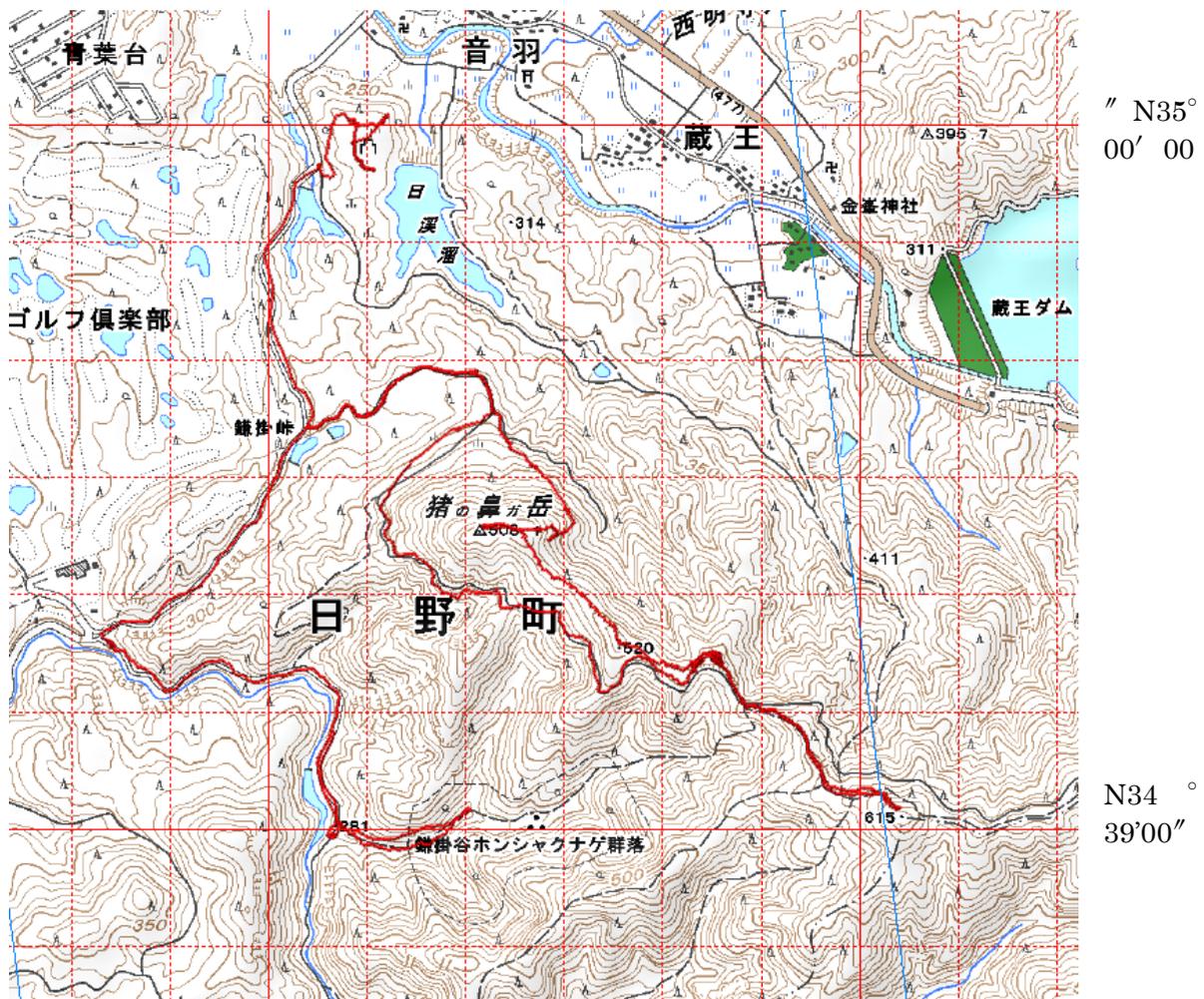


山名	猪の鼻ガ岳		山行名	例会		
ルート	音羽城址公園⇒鎌掛峠－林道分岐－猪の鼻ガ岳－P520－林道出合－ ^{とぎやま} 砥山－林道 － ^{かいがけとうげ} 鎌掛峠－石楠花溪入口－ホンシャクナゲ群落－ホンシャクナゲ群落入口					
山行日	平成26年4月19日～20日		天候	曇りのち雨		
参加者	CL：丸山 SL：佐坂茂美 会計：若林憲治 記録：染矢つや子 ロープワーク指導：中島貞夫 班編成 1班 津田、中廣、村上、金本、山田 2班 小川、赤松、北村、徳田 3班 平松、広瀬、若林、染矢、藤村（一般） 男性：14名 女性：3名 太字：班長 合計：17名					
ルート設定ポイント						
	コースタイム					
	地名	時：分	地名	時：分		
	京田辺	発	6:30	林道との出合	着	10:35
				P13(昼食)	発	11:10
	音羽城址 (講習)	着	8:25	土崖で	着	11:10
		発	9:05	降下練習	発	12:40
	鎌掛峠	着	9:10	砥山山頂	着	13:00
					発	13:37
	猪の鼻ガ岳	着	9:55	石楠花群落	着	14:25
		発	10:05	入口 P33	発	14:45
	P520m	着	10:25	京田辺	着	16:45
山行報告	<p>簡易 GPS で現在位置を確定し、コンパスで目標に向け歩けるようになること、搬出訓練で習っているロープワークを実際の崖での体験、日野町鎌掛谷にある天然記念物の石楠花群落の花の鑑賞と欲張った内容で実施しました。最初に3班に分かれ、音羽城址公園入口近くから、城址記号をほぼ中心とする三角形の3ポイントをGPSとコンパスを使って歩くトレーニングを行った。(使用した簡易GPSは秒以下を四捨五入し表示することと、機器自体の誤差で30mほど位置がずれることがあります、また深い谷では受信電波の影響でもっとずれることがあります)城址には高さ3～4mの堀跡があり崖を迂回するなどコンパスで設定した方向に障害物があると直線で移動できないので、目的の進路から左右にぶれた分を元の位置に戻して歩く結構難しい内容でした。鎌掛峠に移動し、設定ルート上の各ポイントでGPSの数値を記録、地図で位置を確認しながら猪の鼻ガ岳山頂まで。山頂から砥山まで尾根筋を歩くが灌木や植林のためほとんど展望はない。途中の林道に出たところで昼食。昼食後、林道左の高さ3mの土崖をムーンヒッチで下降練習。6mmロープの強度の関係と、1本では細くてロープを握るのに力が入らないのでダブルで使用し懸垂下降を行う。砥山から林道を下る頃には雨がポツポツと降り出した。鎌掛谷のシャクナゲは今年の冬は寒い日が遅くまで続いた為か、咲きかけで蕾が多い状態でした。皆さんには補助をしていただき事故なく無事終了しました。ありがとうございました。</p>					
ヒヤリハット	なし					

今回は GPS ロガーとコンパスをしましたが、GPS ナビを使えば歩いた軌跡と次の目標までの方向、時間、距離、高度や最終目標地点までの到達予測時間等が知ることが出来ます。また最近のスマホを使えば GPS ナビとほぼ同様のことが出来、更に山行途中での軌跡をメールで送れ、事故の時すぐ現在位置が留守側で分かることです。

下図は班の GPS から取り出した軌跡をカシミール 3D の地形図で表示しました。



崖の表記について

がけの記号は、岩でできた急斜面を岩がけとして、土砂がくずれたりしてできた急斜面や盛土部と切取部の人工的に作られた急斜面を土がけとしてあらわしています。

高さ3メートル以上かつ長さ75メートル以上のものを表示しています。

しかし、これから地形図に書入れられるのは取得基準が変わり高さ50m以上、長さ500m以上のものでないと表記されなくなりました。

感想文

猪の鼻ガ岳登山に参加して

藤村 敏幸

今回、体験登山として参加しました。当日は朝から曇り空で、少し肌寒い日で、新田辺を出発し、1時間30分程で日野町の音羽城址に到着した。今回の登山はGPSにより位置確認をし、地図にコンパスをあて進行方向を知り歩むもので、今の時代にマッチした方法でした。私の今までの山歩きは、地図の登山ルートを見ながら、踏み固められた道を多くの登山者と一緒に歩くだけで、位置や方向など知らなくても自然と到着する観光登山でした。白いガスに覆われ、又見透視の悪い場所で、周りに人影がない時は、何時もどちらに進むかヒヤヒヤしていました。この方法を会得すれば、紛らわしい山道でも自信をもち進むことができ、何も知らない友人に自慢できます。最初はコンパスの使い方も分らず、もたもたしていると、同じ班の人に手を取り丁寧に教えてもらい、ようやく使い方が分かり、猪の鼻ガ岳を登り始める時には、自分でもおおよそ方向を判断できました。杉の林をジグザグに歩き、急な斜面を登り、息が荒くなる頃に、猪の鼻ガ岳の山頂に到達した。山頂から尾根道を少し歩き、10時30分頃に林道端で昼食をとり、その後、搬出訓練でした。カラビナにザイルを巻くコツや、降下時の姿勢、力の入れ具合等教わりました。なかなか理解できない私に、ザイルの括り方を、実例を見せながら何回も説明していただき、なんとか自分で出来るようになり、数回降下し楽しく訓練しました。2時頃になると、ふくらはぎが段々と凝りだし、あとどれだけ歩くのか気になる頃に、ここが終点との声を聞きほっとし、その後、美しいシャクナゲの群落も見ることができ、心がなごみ疲れもとれました。天候も最後まで大きく崩れず、無事バスに乗り田辺まで帰ることができ、山登り・学習・訓練、そして花の観賞と、収穫の多い一日でした。最後に企画と引率をしていただきました役員の皆様、本当に御苦労さまでした。



佐坂茂美

結論を先に述べるとすると「非常に楽しく、興味溢れる山行」でした。年間計画では単に山座名表記の山行でしたが、“かんなび”の案内では読図と現在訓練中の搬出プログラムの内の懸垂下降や引き揚げも盛り込まれており、興味深々でした。事前の下見にも誘われ喜んで同行させて頂きました。下見も本番も精緻な資料が準備されシルバコンパス、スマホコンパス、GPS、スマホGPSなどを駆使しそれぞれの機器の若干の表示数値差を確認しながらアナログ読図をさせて頂きました。データ記録等で手許作業も大変でしたが十分に楽しませて頂いた山行となりました。企画されている種々の山行でこんな趣向も盛り込むと又違った山行の楽しみを得られるのかも知れません。

